

清瀬市教育委員会 殿

学校名 清瀬市立清瀬第四小学校

校長名 長 沼 正 城

### 令和7年度教育課程

標記の件について清瀬市立学校の管理運営に関する規則に基づき下記のとおり届け出ます。

#### 記

#### 1 教育目標

##### (1) 教育目標

平和で民主的な社会の形成者としての資質と自他の生命、人格、人権尊重の精神をあらゆる教育活動の基本に据え、自ら学ぶ意欲と心豊かにたくましく生きる力を身に付けた児童の育成を目指し、以下の教育目標を設定する。

- すなおな明るい元気な子 【自他の命を何よりも大切にできる力】
- なかよく力を合わせる子 【自他の命を何よりも大切にできる力】
- ◎よく考えやりぬく子 【生きて働く知識や技能】  
【未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力】  
【生涯に渡って学び続ける力や人間性】
- 自然に親しむ子 【清瀬を誇りとし持続発展の主体者となる力】

##### (2) 教育目標を達成するための基本方針

###### ①「すなおな明るい元気な子」を育成するために

- よりよく生きるための基盤となる道徳性や人権感覚を養うため、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、自他の生命を尊重する態度を育成する。
- コミュニケーション能力の第一歩として「挨拶交流」の場を設定し、よりよい人間関係の基礎をつくとともに、凡事徹底を図りながら自分を見つめる力や自立を図る。
- 学校生活や家庭や地域での活動を通して運動する楽しさを味わい、すすんで運動する態度を養う。

###### ②「なかよく力を合わせる子」を育成するために

- 大きな行事や縦割班活動、クラブ活動等を通して協働して取り組むよさを実感させる場を意図的に設定し、役割を果たす態度や社会性を育む。
- 特別支援教育の充実を図り、配慮を要する児童について全教職員が児童個々の情報を共有し、一人一人の児童の思いに寄り添ったり一人一人の目標を達成できるような支援や最適な学び方を生かしたりすることで、個々の児童の資質能力を伸ばしていく。

###### ③「よく考えやりぬく子」を育成するために

- 保護者との連携を密にその連続を重視し、目標に向かって粘り強く取り組む態度を育む。
- 学んだ知識や理解した内容を基に、思ったことや考えたことを豊かに発信できるような言語力を育成する。
- 授業や家庭学習において、一人1台端末を活用した個別最適の学習態度を育てる。
- 学年の児童の実態に応じて育てたい資質・能力を明確にしたカリキュラム・マネジメントによって、学びの視野を広げ、主体的に学ぶ態度を養う。
- 小中連携教育を充実させ、四中・芝小との連携を深め、学びの連続性を意識した取り組みを行い学び続ける力や人間性を育む。

###### ④「自然に親しむ子」を育成するために

- 各学年段階に応じた自然体験・栽培・観察活動の充実により、実感を伴った理解を深め、課題発見・課題解決能力を育む。

###### ⑤教育課題への取組

- コミュニティスクールを立ち上げ、学校運営協議会や学校支援本部との連携を深め、地域の力を効果的に生かしたり情報を得たりしながら学校力を高める。